



後期研究員入所



10月から後期研究員がそれぞれの研究テーマをもち入所しました。半年間学校現場を離れ、書籍や先行研究から学び、検証授業を行い、研究をまとめていきます。学校現場では教員不足が叫ばれていますが、勉強できる機会を頂けたことに感謝し、日々の研究に勤しんでいます。指導講師の先生方、半年間よろしくお願い致します。

研究員	領域	指導講師
高嶺小学校 沖田亜梨沙	国語ICT	琉球大学教職センター 教授 上江洲朝男
東風平小学校 小久保亜樹乃	特別の教科 道徳	琉球大学教育学部 教授 上地完治



琉球舞踊クラブ

後期のクラブは宮城伸子先生を講師に招き、琉球舞踊をお稽古します。琉舞「かぎやで風」を通して琉歌や沖縄文化・芸能への理解を深めていきます。まずは扇子の持ち方や姿勢、足の運びを体験し、全6回の最後には1曲踊れるように研究の合間のクラブ活動を楽しんでいきます。



小中自主参加研修会

学校における「保護者対応・相談」の在り方
～いじめ事例から考える保護者対応→保護者相談会の進め方～
期日：11月28日(火)15:30～16:45
講師：琉球大学教職大学院 教授 白尾裕志 氏
場所：南部総合福祉センター1Fホール(対面)



うるま市立中原小学校視察



10月12日(木)うるま市立中原小学校(校長:松田健史)を参観する機会がありました。中原小学校は well being に向け、OJTや自由進度学習等に取り組んでいます。その取り組み実践をいくつか紹介します。(取り組み→成果)

- これまで月1回行っていた職員会議をやめ、職員間の「対話の時間」を設けた→学年の垣根を越え、お互い気兼ねなく頼れる関係性ができ、職員の心理的安全性が高まった。
- 年間計画なしのミニOJT開催。その都度必要と感じたときに互いに声をかけ合い、必要な人が参加する研修を実施→受け身でなく、必要な人にとっての必要な研修であり、合理的・効率的な研修になっている。
- こどもの「やりたい」を実現。やらされる活動でなくこどもの考えを大事にしたい。
→こどもの主体性・自主性、心理的安全性の高まりにつながる。
例：生活委員がクラス輪番で行っていた正門でのあいさつを、子どもの案でビンゴカードにてあいさつ運動→楽しみながら挨拶の輪が広がる。
- 自由進度学習を実施。「レベルアップできるように学習を進めよう」を基本に学習の視点を与え、学期に1単元程度展開中→自分で考え互いに学び合う力を育む。
- 清掃時間後の15分間モジュール学習実施。1週間で1コマカウント
→子どもたちと関わる時間&授業準備の時間を確保。働き方改革。

